

2023年6月 東京地区百貨店売上高概況

2023年7月24日

I. 概況

1. 売上高総額	1,360億円余
2. 前年同月比(増減率)	10.0%(22か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭9.9%(90.6%)：非店頭11.4%(9.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	729,599㎡ (前年同月比：-8.4%)
6. 総従業員数	13,961人 (前年同月比：-6.8%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 11.0%、12-2月 14.6%、1-3月 17.2%、 2-4月 14.5%、3-5月 10.7%、4-6月 9.8%

[参考] 2022年6月の売上高増減率は13.8%

【特徴】

- (1) 6月の東京地区は、売上高10.0%増、入店客数4.5%増と共にプラスとなった。外出機会の増加やインバウンド売上の高伸、好調が続く高付加価値商材の増勢の他、月後半の気温上昇に伴い夏物商材が好調に推移したことで、前月より伸び幅を広げ(2.0ポイント)二桁増となった。2019年比では売上高1.7%減と回復基調は継続している。
- (2) 商品別では、主要5品目全てプラスとなった。主力の衣料品(12.6%増/21か月連続)は、外出気運の高まりから盛夏商材が順調に稼働し、6か月連続で二桁増を記録した。紳士服・洋品ではジャケット、シャツ等のビジネスアイテムやクールビズ関連商材、婦人服・洋品ではワンピースや羽織物等が好調に推移した他、雨傘、日傘、帽子等も伸長した。
- (3) 身のまわり品(13.4%増/22か月連続)は、ラグジュアリーブランドが依然好調を維持している他、天候与件からサンダルやサングラス等盛夏アイテムが良く動いた。インバウンド需要や国内客の旅行回帰でスーツケースも好調に推移した。雑貨(15.9%増/22か月連続)は、化粧品が32.7%増と高伸し、UV関連商品やヘアケアアイテム、メンズコスメ等に動きが見られた他、インバウンド需要も高まっている。美術・宝飾・貴金属は時計の入荷減による品薄等マイナス与件がある一方、宝飾が好調で2か月ぶりにプラスに転じた。
- (4) 食料品(2.4%増/2か月連続)は、手土産需要から菓子が好調で、2019年比でも9.7%増とコロナ前を上回った。中元ギフトではゼリーやアイス等冷菓デザートに動きが見られた。また、客数増に伴いレストランの利用客が増加し売上を伸ばしている。
- (5) 7月中間段階の商況は、前年比12.0%増(7/17時点)で推移している。コロナ前の2019年比でも6.9%増と、回復基調が鮮明になってきている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した：16店、②変化なし：0店、③減少した：2店
- (3) 6月歳時記(父の日、中元)の売上(同上/有効回答数12店舗)
 - ①増加した：3店、②変化なし：8店、③減少した：1店

東京地区百貨店 売上高速報 2023年6月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	136,056,773	100.0	10.0
紳士服・洋品	9,354,547	6.9	11.6
婦人服・洋品	19,935,413	14.7	15.3
子供服・洋品	1,521,485	1.1	8.2
その他衣料品	1,581,167	1.2	-6.4
衣 料 品	32,392,612	23.8	12.6
身のまわり品	22,950,902	16.9	13.4
化粧品	12,630,241	9.3	32.7
美術・宝飾・貴金属	13,865,033	10.2	5.5
その他雑貨	4,060,400	3.0	9.4
雑 貨	30,555,674	22.5	15.9
家 具	1,223,785	0.9	4.6
家 電	871,924	0.6	8.0
その他家庭用品	2,992,540	2.2	-1.4
家 庭 用 品	5,088,249	3.7	1.5
生 鮮 食 品	4,831,593	3.6	1.6
菓 子	11,055,360	8.1	8.5
惣 菜	7,113,855	5.2	5.0
その他食料品	14,094,137	10.4	-2.9
食 料 品	37,094,945	27.3	2.4
食 堂 喫 茶	2,411,306	1.8	9.9
サ ー ビ ス	2,037,248	1.5	13.0
そ の 他	3,525,837	2.6	15.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,942,254 千円	-7.6
従 業 員 数	13,961 人	-6.8
店 舗 面 積	729,599 m ²	-8.4

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は全てプラスとなり、衣料品、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、婦人服・洋品、化粧品が22か月連続、生鮮食品が9か月ぶり、惣菜が4か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	10.0	—	22か月連続プラス
紳士服・洋品	11.6	0.8	20か月連続プラス
婦人服・洋品	15.3	2.1	22か月連続プラス
子供服・洋品	8.2	0.1	12か月連続プラス
その他衣料品	-6.4	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	12.6	2.9	21か月連続プラス
身のまわり品	13.4	2.2	22か月連続プラス
化粧品	32.7	2.5	22か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	5.5	0.6	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	9.4	0.3	16か月連続プラス*
雑貨	15.9	3.4	22か月連続プラス
家具	4.6	0.0	3か月ぶりプラス
家電	8.0	0.1	9か月連続プラス
その他家庭用品	-1.4	-0.0	3か月連続マイナス
家庭用品	1.5	0.1	6か月連続プラス
生鮮食品	1.6	0.1	9か月ぶりプラス*
菓子	8.5	0.7	28か月連続プラス*
惣菜	5.0	0.3	4か月ぶりプラス*
その他食料品	-2.9	-0.3	4か月連続マイナス*
食料品	2.4	0.7	2か月連続プラス
食堂喫茶	9.9	0.2	16か月連続プラス
サービス	13.0	0.2	2か月連続プラス
その他	15.9	0.4	5か月連続プラス
商品券	-7.6	-0.2	4か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>